

名城大学×JICA 中部×M Patio 連携企画

「食」と「対話」で国際協力を考える！

「M4R・国際協力 CAFE」を10月22日に開催

～ロヒンギャ風牛肉カレーとフェアトレードコーヒーを味わいながら、
“私にできる一歩”を見つける～

名城大学外国語学部の宮下大夢准教授（国際協力論・平和学）とゼミ生は、本学ナゴヤドーム前キャンパス内食堂「M Patio」（名古屋市東区）と独立行政法人国際協力機構（JICA）中部センターと連携し、10月22日にイベント「M4R・国際協力 CAFE」を開催します。

本イベントでは、「食」を通じて難民を知る・支える活動「Meal for Refugees（M4R）」に加え、ゲスト講師による講演やフェアトレードコーヒーの試飲会、参加型ワークショップなどを実施します。学生や地域住民の方が「国際協力」を身近なものとして捉え、行動を起こすきっかけをつくることを目的としています。

どなたでも参加可能です。ぜひ、取材にもお越しください。



【1. ポイント】

・「食」でつながる難民支援：M4R「ロヒンギャ風牛肉カレー」の提供

宮下ゼミの「Meal for Refugees（M4R）」活動の一環として、ナゴヤドーム前キャンパス内食堂「M Patio」が難民の故郷の味である「ロヒンギャ風牛肉カレー」を提供します。一皿の食事をきっかけに、難民への理解を深め、支援について考える機会をつくります。

・株式会社豆乃木 代表・杉山世子氏による講演&試飲会

元 JICA 海外協力隊員で、フェアトレード事業を手がける株式会社豆乃木の杉山世子氏を招き、海外での活動経験や事業についてお話しいただきます。また、ミャンマー産フェアトレードコーヒーの試飲会も実施します。

・参加型ワークショップ：「国際協力の木（コーヒーの木）」をつくろう！

講演後、参加者が自分にできる身近なアクションを書き出し、会場に設置された「コーヒーの木」に貼り付けて完成させるワークショップを行います。



【2. 開催背景と目的】

企画を担当する名城大学外国語学部4年の学生2人は、現在 JICA 中部センターの長期インターン生として活動しています。学生たちは、大学内において「国際的な事象に関心を持ちつつも、実践や行動に移す機会が少ない」という課題意識から、本イベントを企画しました。

本学ナゴヤドーム前キャンパス内食堂で開催し、学生だけでなく地域住民の方々も参加できます。学内および地域社会における国際協力への関心と理解を深めるとともに、「地域に開かれた大学」の実現を目指します。

【3. イベント内容】

イベント名	M4R・国際協力 CAFE ～カレーを食べて、コーヒーを飲みながら世界のことを考えよう！～
日時・場所	10月22日（木）11:10～12:20（受付開始 10:45～） 名城大学ナゴヤドーム前キャンパス 北館1階 学食「M Patio」 （名古屋市東区矢田南四丁目 102 番 9）
対象・定員	名城大学の学生・教職員、一般（地域住民） 最大 80 名（事前予約制 60 名／当日参加枠 20 名） 参加申込の URL と二次元コード  https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd7DMFLiO23DZoqTdOEVBepue5VcpVb8MY5ezTZ-mqZDywjMQ/viewform
参加費	700 円（カレー代 650 円 + 難民支援募金 50 円） ※難民支援募金 50 円は、宮下ゼミの取り組みとして、認定 NPO 法人難民支援協会（JAR）へ寄付します。
内容	・11:10～11:30 開会挨拶・イントロダクション（M4R の紹介、カレーの提供、交流） ・11:30～12:05 株式会社豆乃木 杉山世子氏による講演 & コーヒー試飲会 ・12:05～12:15 ワークショップ「国際協力の木をつくろう！」 ・12:15～12:20 閉会挨拶・アンケート記入
企画・協力	企画：名城大学 外国語学部 宮下大夢准教授ゼミ 共催：独立行政法人国際協力機構（JICA）中部センター 協力：認定 NPO 法人難民支援協会（JAR） 株式会社 LEOC が運営する名城大学ナゴヤドーム前キャンパス内食堂「M Patio」
取材要領	腕章着用をお願いします。取材していただける場合は、 10月21日（水）15:00 までに koho@ccml.meijo-u.ac.jp へメールでお知らせください。 メールのタイトルは「国際協力 CAFE／社名」とし、本文には、 ①部署名 ②担当者名 ③電話番号 ④参加人数 をご明記ください。 ＊会場へは公共交通機関をご利用の上お越しください。
問い合わせ先	外国語学部 宮下大夢 miyah@meijo-u.ac.jp

【独立行政法人国際協力機構（JICA）中部センター】

日本の政府開発援助（ODA）の実施機関として、開発途上国の経済・社会の発展や国際社会の平和と安定に貢献することを目的としている。中部センターでは、国際理解を深める展示施設「なごや地球ひろば」の運営や、開発途上国からの研修員受入事業などを展開。名城大学とは、2025 年 12 月にインターンシップ・プログラムに関する覚書を締結している。

URL : <https://www.jica.go.jp/domestic/nagoya-hiroba/about/chubu/index.html>

【認定 NPO 法人難民支援協会（JAR）】

日本に逃れてきた難民が、新たな土地で安心して暮らせるように支え、共に生きられる社会の実現に向けて取り組んでいる認定 NPO 法人。専門スタッフが難民に対する法的支援、生活支援、就労支援を行っているほか、制度改善のための政策提言や調査・研究、情報発信など、日本の難民保護を目的として総合的に活動。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）駐日事務所のパートナー団体。

URL : <https://www.refugee.or.jp/>

【Meal for Refugees（M4R）】

M4R は、日本に暮らす難民の故郷の味を学生食堂で提供し、「食」を通じて難民を知る・支える活動。難民支援協会が出版したレシピ本『海を渡った故郷の味』から生まれたプロジェクトで、学生が主体となり、難民支援協会と共同で実施している。

URL : <https://meal4ref.org/>

レシピ本『海を渡った故郷の味』 <https://www.flavours-without-borders.jp/>